

藤井雨江 （本名） 國文學者、詩人。明治二年伯馬國生れ、大正二年二月一日歿（八六九—一九三三）。本名正男。筆名とりぶ、一風子、雨江釣士。

明治二十九年帝國文學文科大學國文科卒。在學中雜誌『帝國文學』創刊に際し、編輯委員となる。大學院に進み修辭學專攻。三十年落合直文、正岡子規等と新詩會を興す。立教中學校、蕨川中學校を経過し、三十五年日本女子大學校教授、四十四年奈良女子高等師範學校教授。

譯著書、スコット作『今様長歌湖上の美人』（本名、譯、明治二十七年二月二十五日開新書書店）、『美文韻文花紅葉』（武島羽衣大町桂月合著、明治二十九年十一月二十七日博文館）、詩集『新體この花』（内題「このはな」合

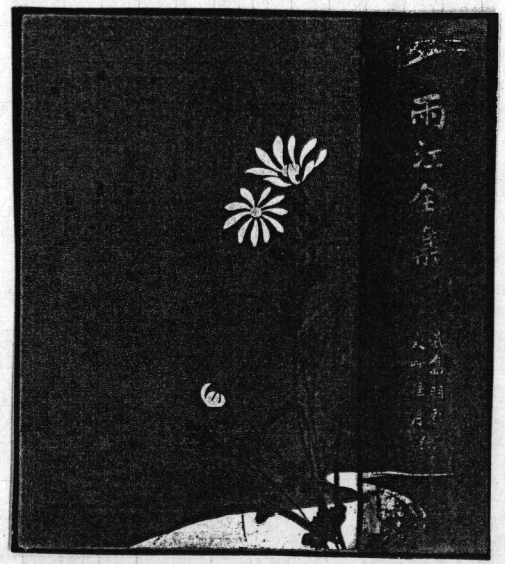
著・新詩會編、明治二十年二月十一日同文館）、『青葉集』（合著、石橋哲太郎編、明治二十年十一月二十二日文盛堂）、『香川景樹』（明治二十一年六月十九日日本圖書株式會社「國文學大綱」）、『美文暗香疎影』（明治二十四年八月十八日博文館）、『栗賣』、『美文貧乏』

（根本吐芳著『破三味線』明治二十五年七月九日春陽堂・附載）、『女子癡賣文集』附錄『大家文集』（共選評・編輯句校訂、明治二十九年一月七日女子文壇社）、『新體女子用文』（川野養堂書式、中村春堂書、明治四十二年十月十五日前川文藝閣）、文

集『春光』（合著・好文會編、明治四十四年五月二十日同



集『春光』（合著・好文會編、明治四十四年五月二十日同



治書院）、遺稿『雨江全集』（武島羽衣大町桂月編、大正二年十一月七日博文

館)、早女と貞女(家庭教訓) 〇(合著・鹿島注編、大正三年一月)

(日本洋書店)等。